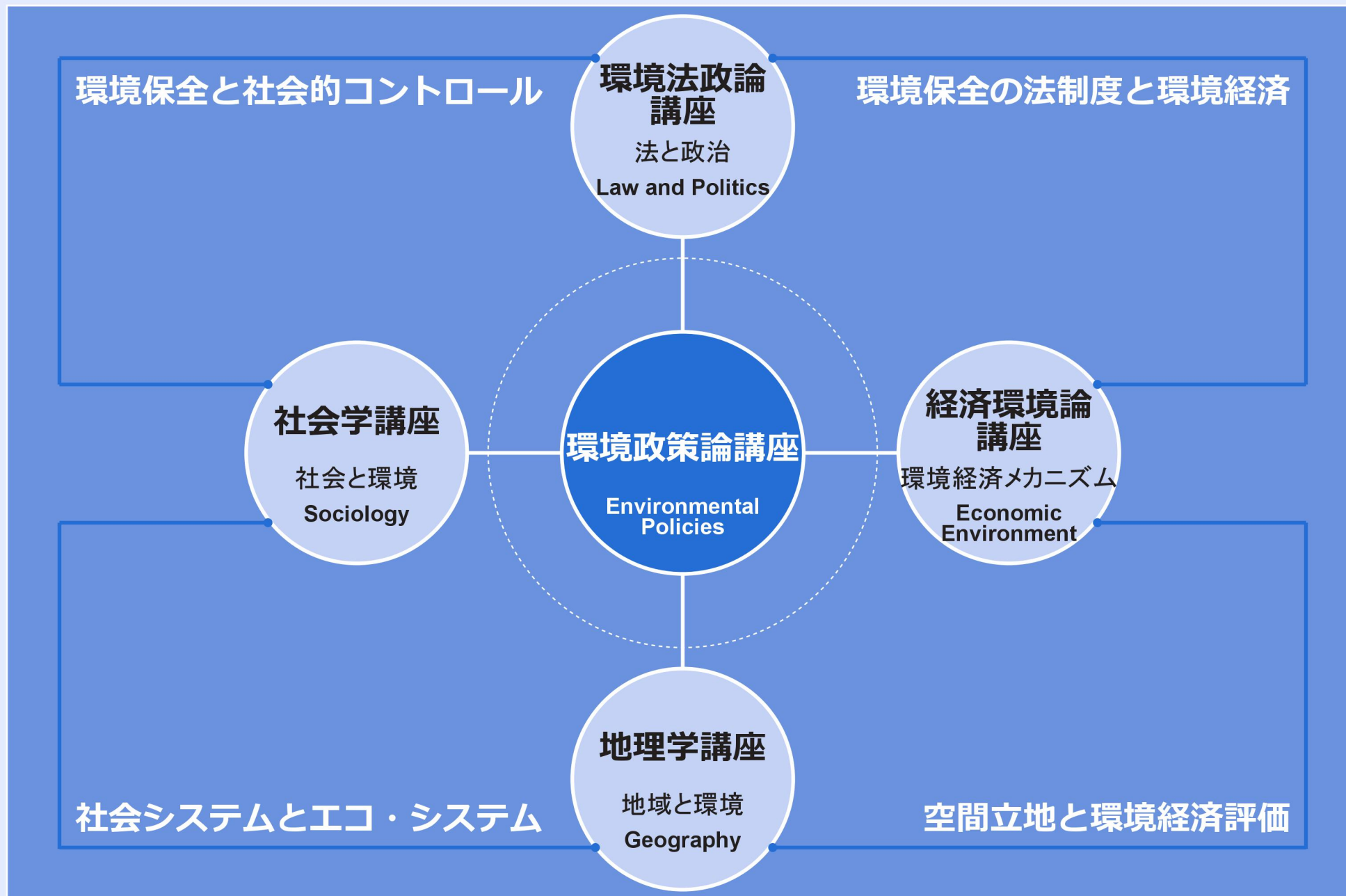


社会環境学専攻



Department of Social and Human Environment



【専門分野】集団論、階層論、産業都市論

集団・ネットワーク形成過程と階層格差の関係 / 産業都市の地域社会構造と公共空間 / 社会科学方法論etc.

【研究紹介】

集団カテゴリーやシンボリズムを手がかりに、先進社会の階級・階層構造がどのように行為者の社会意識と関連し、また集合行為の発生を左右するのか、ということを中心たる関心として研究しています。ここから、現代社会にみられる、組織・集団・ネットワークといった集合性の多様なあらわれかたを解明しようというのがねらいです。また、実証的研究としては、先進産業地域の階層構造と市民活動との関連というテーマで、豊田市や刈谷市、四日市市など周辺都市を対象とした調査研究をすすめています。

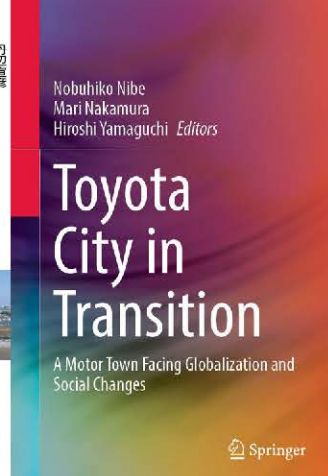
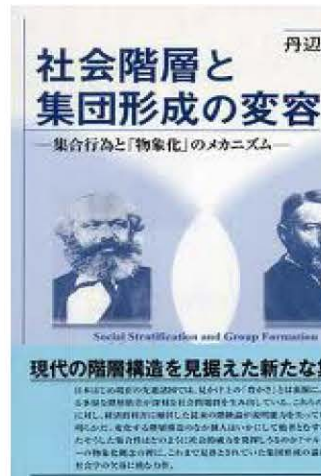
【著書・論文等】

- ・社会階層と集団形成の変容: 集合行為と物象化のメカニズム, 東信堂, 2006
- ・階層研究の死角と社会学的伝統の射程—集合性をめぐるアプローチ, 庄司興吉編, 21世紀社会変動の社会学へ, 153-176, 新曜社, 2020.
- ・豊田とトヨタ, 丹辺宣彦・岡村徹也・山口博史編, 東信堂, 2014
- ・変貌する豊田, 丹辺宣彦・中村麻理・山口博史編, 東信堂, 2020(= *Toyota City in Transition*, Springer, 2022)
- ・産業の近代化と社会的空間, 丹辺宣彦, 講座社会学5, 1999
ほか



豊田市K会が整備している緑道と水路

現在の四日市・磯津漁港





【専門分野】 食と農の社会学、科学技術社会論 フードシステム、科学技術のガバナンス

【研究紹介】

現代における様々な変化を、食と農という側面から社会学的に研究しています。環境負荷や地域づくり、文化変容、格差など、食と農を通じて検討することで、身近な問題として捉え直すことができます。

また、遺伝子組換え作物やナノテクなど、食と農への先端技術の応用がフードシステムに影響をもたらしている現代において、科学技術に対するガバナンスのあり方が重要になっています。社会学の観点から問題構造の把握を行い、ガバナンスのあり方について社会に発信できればと考えています。



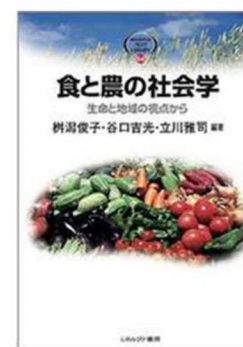
英国のfarmers' market (2014)



米国のバイオ企業調査(2013)

【著書・論文】

- ・「選択する消費者、行動する市民：食から社会を変える」、秋津他編『農と食の新しい倫理』所収、昭和堂、2018.
- ・「ゲノム編集由来製品のガバナンスをめぐる消費者の認識」、『フードシステム研究』24(3): 251-256, 2017.(共著)
- ・『遺伝子組換え作物をめぐる「共存」—EUにおける政策と言説』農林統計出版、2017年
- ・「北米におけるフードポリシー・カウンシルの展開とその含意」、『フードシステム研究』23(3): 299-304, 2016.(共著)
- ・『食と農の社会学』ミネルヴァ書房、2014年。(共編著)
- ・『萌芽的科学技術と市民—フードナノテクからの問い』日本経済評論社、2013。(共編著)
- ・『遺伝子組換え作物と穀物フードシステムの新展開—農業・食料社会学的アプローチ』農文協、2003.

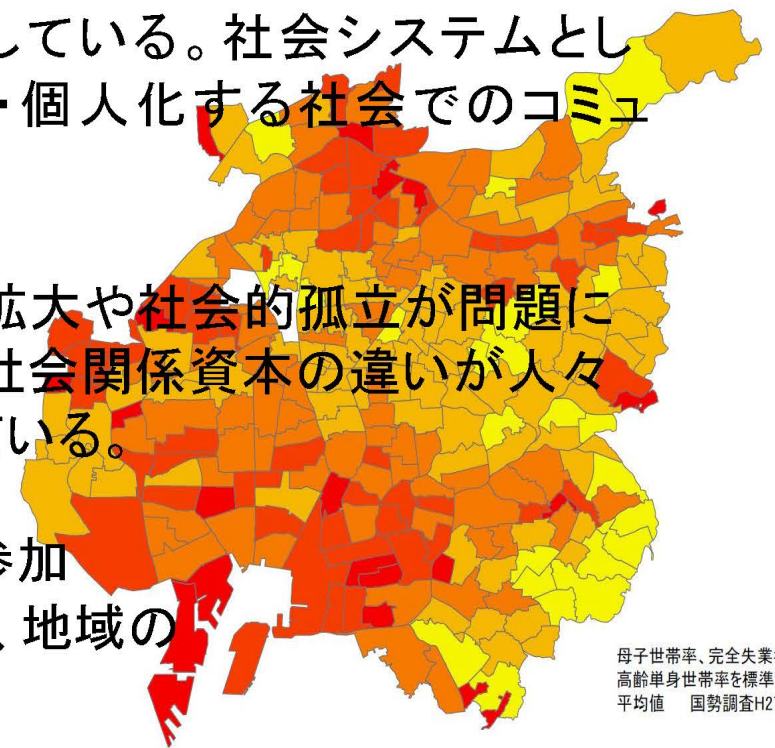


■専門分野

社会学（現代社会論、社会システム論）
sociology: contemporary social theory

■研究テーマ

1. 理論的には、ポストフォードイズム、ポスト工業社会、リスク社会、リキッド社会などさまざまに呼ばれる現代社会の構造変動を分析している。社会システムとしての市場・政府・コミュニティの相互関係と、リスク化・個人化する社会でのコミュニティのあり方を問題にしている。
2. 実証的には、グローバル化とポスト工業化のもとで格差拡大や社会的孤立が問題になるなかで、名古屋都市圏を事例に、コミュニティ構造や社会関係資本の違いが人々のウェルビーイング(幸せ)に及ぼしている影響を分析している。
3. 環境学研究科・伊勢湾流域圏のORTプロジェクトへの参加
岐阜県恵那市、白川町、東白川村、長野県木曾町などで、地域の持続可能性を評価している。



【専門分野】 地域社会学、災害社会学

災害・防災／コミュニティ／都市・農村関係など



【研究紹介】

地域社会学、都市社会学が専門で、以前はおもに瀬戸内の離島を事例に過疎地の存立状況について調査を行っていましたが、東日本大震災後は専ら自然災害に関する調査に従事しています。発展途上国の災害との比較も視野に入れ、災害と開発の関係や社会と自然の関係、防災に果たすコミュニティの役割について研究しています。

【著書・論文等】

- ・離島における環境再生-香川県豊島を中心に, 地域社会学会年報, 22巻(頁: 47-62), 2010年
- ・都市化と災害, 大学教育出版, 2011年
- ・発展途上国における開発と災害-スマトラ地震とアチェの事例, 地域社会学会年報, 30巻(頁: 97-110), 2018年
- ・Historical Context of Disaster Recovery in Developing Countries: The Case of the Sumatra Earthquake in Aceh, Indonesia, *International Comparative Study on Mega-Earthquake Disasters: COLLECTION OF PAPERS Vol.3*, 93-110 ほか



福岡県太宰府(2003年集中豪雨)



アチェ(インドネシア)の堤防



南三陸町の河川堤防



【専門分野】福祉社会学、比較社会政策論

東アジアの福祉レジーム／仕事と福祉の未来／ 環境社会政策／グローバル社会政策

【研究紹介】

私たちの日常生活の中心にあるのは家庭や職場ですが、そのありようは福祉レジームによって条件づけられています(福祉社会学)。

このことは通常あまり意識されていませんが、例えば保育所利用率と出生率の関係を国際比較するとはっきりします(比較社会学)。

このように、社会のメカニズムがどのようになっているかを分析したうえで、ではこれからどうすべきかと考察を進めます(政策社会学)。

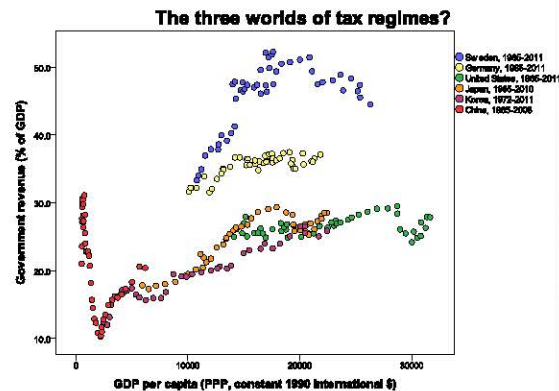
雇用危機、ケアの危機、民主主義の危機、気候危機といった折り重なる現代の課題に直面してどのような社会政策を構想すべきか。

ローカル／ナショナル／グローバルを横断するグローバル社会政策の視野から、人間のウェルビーイングを支え続ける道を探ります。

【著書】

『福祉のアジア——国際比較から政策構想へ』

(名古屋大学出版会, 2015)第28回アジア・太平洋賞特別賞受賞



ハーバード・エインチン
研究所ワークショップ



東アジア社会政策会議
名古屋大学豊田講堂にて



【専門分野】 経済社会学、社会階層論

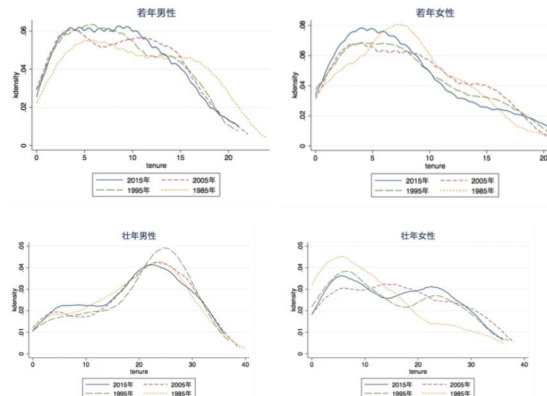
Economic Sociology, Social Inequality, Social Stratification

経済と社会の相互作用／労働市場と格差・不平等

【研究紹介】

経済と社会の多様な相互作用や、労働市場で生じる格差と不平等の問題を、理論的かつ経験的に分析することに関心をもっています。

現在は、非正規／正規雇用、離職・転職、賃金格差の問題に取り組んでいます。企業中心社会に代わる個人-企業-社会の新しい関係の構想や、働き方による格差が小さく、再チャレンジが容易な労働市場の設計に貢献する(知)を、実証的な研究者の立場から生み出したいと考えています。



【著書・論文】

- ・『歴史のなかの大卒労働市場—就職・採用の経済社会学』勁草書房, 2016年.
- ・「就職空間の成立」佐藤俊樹編『自由への問い』岩波書店, 2010年.
- ・「入職経路の個人内効果—非正規雇用から正規雇用への転職のパネルデータ分析」『ソシオロジ』61(3): 23-39, 2017.
- ・「非正規雇用から正規雇用への移動における企業規模間格差—二重構造論からのアプローチ」『社会学評論』66(1): 73-88, 2015.
- ・「個人の希望から社会の希望へ—社会意識のマイクロ-マクロリンク」『理論と方法』29(7): 307-322, 2014.
- ・「勤続年数分布の規定要因の検討—分位点回帰分析によるアプローチ」『現代日本の格差と不平等に関するデータの二次分析研究成果報告書』: 219-246, 2017.
- ・「非正規雇用労働者の入職経路と転職結果—正規転換、賃金、仕事満足度」『『壮年非正規雇用労働者の仕事と生活に関する研究(労働政策研究報告書188)』: 61-77, 2017.

吉村 真衣 Mai Yoshimura

【専門分野】文化遺産の社会学、地域社会学 環境社会学



【研究紹介】

ローカルな景観や生業の側面から、社会・文化・自然の相互作用を通して地域社会やそこでの生活がいかに存立・変容しうるかを研究しています。

現在は小規模漁業などを調査対象にして、グローバル／ナショナルな自然環境、文化的価値、制度政策の変動下での、ローカルな社会構造・社会関係、生業・生活実践の再編のありようを実証的に研究し、社会の持続可能性を考えるための理論的寄与を目指しています。

【著書・論文】

「生業の継承における遺産化の影響—鳥羽市相差町の海女漁の事例から—」, 東海社会学会年報(13), 118-132, 2021年

『社会学で読み解く文化遺産 —新しい研究の視点とフィールド』, 新曜社, 2020年(共著)

「生業の遺産化と「振興」をめぐる力学 —三重県鳥羽市における海女漁の事例から—」, 環境社会学研究(25), 186-201, 2019年

ほか



石川県金沢市ひがし茶屋街の景観



三重県鳥羽市の海女漁



海女とのインタビュー調査